

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』

連載第12回

何者かが故意に故障させた可能性大！

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。（JR連合民主化闘争情報号外より抜粋）

<週刊現代2006年10月7日発売号>

総力取材で浮かび上がった恐るべき実態

「今回の京葉線の火災の報道をみて、『これは、おかしい』と思いました。これまで架線に流れる電流が、信号ケーブルに逆流するケースなど、聞いたことがありませんでした。どう考えても、不審な事故ですね」「通常ブレーカーの耐用年数は30年です。燃えたブレーカーの使用期間は17年。定期的に整備・点検されていたはずですし、なぜ突然壊れたのかが腑に落ちない。整備ミスということも考えられますが、何者かが故意に故障させた可能性も十分考えられます」

こう語るのは『電気車の科学』の元編集者で、鉄道評論家の川島令三氏だ。今回の火災が人為的に引き起こされていたとすれば、“内部犯行”の可能性が極めて高い。というのも、現場は、部外者立ち入り禁止の場所だからだ。

「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実 『京葉線だけではない多発する列車事故一挙掲載』」

と題するこの記事は、約21万6000人の足を奪った9月28日の京葉線全線不通事故を総力取材している。国交省は29日に清野社長を呼び警告書を手渡したが、何と今年に入って4回目だという。しかも、今年に入ってJR東日本では24件の列車事故が発生している。JR東日本は何かにつけて秘密主義、隠蔽体質。7月30日に発生したJR八高線の置き石事件も、週刊現代が取材して初めて警察に被害届を出したという。

乗客よりも自社の安全を最優先、週刊誌に載って初めて八高線置き石事件の被害届を提出するJR東日本！